

湯の丸山 (2101m)

毎日新聞旅行 26日

この山に登るのは2006年6月、2011年2月に続いて3回目である。浅間山の北西側の近くに位置する。今年はどこも雪が少ないみたいであるが、このスキー場はその心配も無いようで地元の子供と思える子たちが沢山滑っていた。最近にしては珍しくスノーボーは少ないみたいでほとんどがスキーであった。遠目ではまああるくてこんもりした山であるが、登ってみてもそのままである。リフトの部分の登りと頂上付近の登りが少し傾斜が大きくなっているが、苦にすることも無い。雪のあるときでも2時間弱で登れる。最近の俺にはちょうど良い山だ。しかし去年のまいたびのツアーではラッセルがものすごく頂上の遥か手前で断念したという。今年はトレースもしっかりあって、そんな苦労は無かった。東京を出るときは雨であったが、ここでは曇りから晴れになった。

ツアーリーダーはベテランの清野さんにサブは前回に続いて上野さん。それに高年新人の宮崎さんが付いた。もっとも参加者の一人が駐車場からトイレに行くときに凍った道で転んで肩の骨を折ってしまって、上野さんはその付き添いをしたので実質は登れなかった。参加者は21名、男女ほぼ同数くらいであった。日曜日であるので現役世代が多く、珍しくジジババは肩身が狭かった。

前回の赤城山で壊れた軽アイゼンを買直し初めて使ったが、足の付け根の外側付近という変なところに筋肉痛がある。ケツが引けて歩き方が悪いのであろう。



鐘分岐付近